

自治会の役割とは？

防災の柱となるものは、「自助」「公助」「共助」の3つと言われています。自らを助ける「自助」、行政による「公助」、そして地域で助け合う「共助」があり、この「共助」の一角を担うのが自治会です。

過去の大きな自然災害において、自治会の力が大きく発揮され、安心して暮らすための助け合いの組織であることが再認識されています。安心・安堵には地域のつながり「共助」が大切です。

自治会への加入は、野木町に住んでいる皆さんにお願いしています。持ち家ではないから、一人暮らしだからなどと思われないで、いざというとき、困ったとき、お互いに頼り、頼られる関係づくりのために、ぜひ自治会にご加入をお願いします。

自治会に入りたい方は、お住まいの地域の自治会長へご連絡ください。

自治会長が分からない場合は、総務課へお問合せください。

自治会では主にこのような活動をしています

1

災害に強いまちづくり

- ・自主防災組織の結成
- ・防災訓練等

2

安心して暮らせるまちづくり

- ・子ども・高齢者の見守り
- ・防犯灯の設置要望
- ・防犯パトロール
- ・交通事故防止活動等

3

快適なまちづくり

- ・地域内の道路・公園の清掃
- ・ごみ集積所の維持管理等

4

ふれあいのまちづくり

運動会や夏祭りなどの
住民同士の親睦・交流を図る
ためのイベントの開催等

5

情報の提供

広報紙や町からの
連絡文書の配布・回覧等

広報連絡委員レポート No.460

「ペット達」と住む幸せ！

南赤塚地区 広報連絡委員 石川 清

私は、現在の野木町南赤塚に、埼玉の大宮から転居して45年となる。

転居理由は様々だが、一番の理由は、妻の実家が隣の間々田であった事が最大の理由である。山林の小道の落ち葉の色と、まぶしい天然の色、どのような絵の具を重ねても出せない色彩と思われる橙色のカーペットに目もくらむような感動をきざみ、ここに移住して未だ40数年経っても薄れない感動があった。

また、先輩が間々田で不動産業を始め、最初の仕事で、私の家の世話をしてくれたが、その物件は、私も妻も一目で気に入った建物であった。駅まで歩いて20分

位、団地として50数棟しかなく、小中学校が近くにあり、交通の便も良く、林に囲まれた環境の良いところも気に入ったところであった。さらに、当時は商店街も近く、若い人がほとんどで、子どもも多い住環境のところも気に入り、ここに住むと決めた。色んな偶然や物事が重なり合った。

移住して直ぐに娘が近所から子猫をもらい、その後、猫10匹、犬を4匹見送ったが、現在は、猫7匹と犬1匹を育てている。

見送った犬猫も、今いる子たちも一匹一匹模様が違いうように性格も違うので、それぞれ個性がある。

みんなじゃれ合ったり、時にはケンカしたり、夜は仲良く折り重なって寝たりして毎日違う日常があり、私たち家族も自然と笑顔になる。